

府中市教育委員会会議録

1 開会の日時

令和6年8月22日（木） 教育センター 会議室
（令和6年第9回） 13時30分 開会

2 出席委員

荻野教育長、高橋委員、和知委員、藤井委員、森山委員（5人）

3 委員以外の出席者

大川教育部長 大森教育政策課長 宮田学校教育課長
和田教育政策課教育推進係長 松本学校教育課管理係長 津田学校教育課主査

4 会議に付した議案の題名

第23号 令和5年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について
（教育委員会の所掌に係るものに限る。）

第24号 令和7年度使用教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択について

5 審議の概要並びに結果の概要

議案2件について審議を行い、同意の議決を得た。

6 議決事項

議案第23号 承認 議案第24号 採択

7 協議事項

なし

8 報告事項

(1) 荻野教育長

・府中学園の表敬訪問について

(2) 大川部長

(3) 教育政策課

・賑わいづくり特別委員会（8/5）について

・歴史資料館運営審議会（8/7）について

- ・府中市備後国府跡調査研究指導委員会委員の改選について
- (4) 学校教育課
- ・学校の状況等について
 - ・第19回小中一貫教育全国サミットの進捗状況について
 - ・ALTの紹介

9 その他

なし

次回 令和6年9月24日(火) 午後1時30分～

次々回 令和6年10月24日(木)の週で調整

16時11分 終了

会議録署名者 委員

委員

書記

教育委員会会議（9回）

教育長 それでは、皆さん、こんにちは。8月8日の中学校及び義務教育学校後期課程の教科用図書の採択に関わりまして、長時間にわたり御審議をいただきましてありがとうございます。改めて来年の中学生の教科用図書の採択の重要性を感じたところです。

 本日は、次年度の特別支援学級に進学予定の児童生徒が使用する教科用図書の採択の議案がございますので、どうぞよろしく願いいたします。

 さて、いよいよ来週26日から府中市立学校の2学期がスタートいたします。翌日の27日から30日までは市内でキャリア体験学習が開催される予定でございまして、中学校2年生、府中学園で言うと8年生、府中明郷学園は7年生の生徒が市内各所でキャリア体験学習に臨むわけですけれども、市内の90を超える事業所に今年度の受入れをいただく予定となっております。来週、町なかで中学生を見かけたらぜひお声がけをよろしく願いいたします。

 また、和知教育委員におかれましても受入れていただくということでどうぞよろしく願いいたします。

 それでは、本日も少し時間を要する案件がございますので、早速令和6年第9回の教育委員会会議を開会いたします。

 会議録署名者の指名をいたします。

 藤井委員、和知委員、よろしく願いいたします。

 （はいの声）

教育長 それでは、会議録の承認に入ります。

 前回の会議について事務局の報告を求めます。

 和田係長。

和田係長 それでは、失礼いたします。令和6年第8回会議について報告いたします。

 第8回会議は、令和6年8月8日木曜日13時00分から、教育センター会議室において、教育長、教育委員全員と、大川教育部長ほか事務局5名の出席で開会いたしました。

 議案1件で、令和7年度で使用する教科用図書の採択に関わるものでした。

 会議の冒頭で、教科用図書の採択に関わる議案について、会議の公開・非公開の取扱いを確認し、委員全員の同意により、会議を公開すること

に決しました。

その議案第22号 令和7年度中学校及び義務教育学校後期課程で使用する教科用図書の採択について、16種目ごとに審議を行い、採択いたしました。傍聴者は9名でした。

報告事項として、教育部長から第19回小中一貫教育全国サミット in びんご府中の二次案内を送付したことについて報告がありました。

次回開催日程を確認し、会議の全てを16時50分に終了しております。

以上でございます。

教育長 それでは、会議録の承認を求めます。御異議ございませんでしょうか。
(異議なしの声)

教育長 御異議なしと認めます。よって、会議録を承認いたします。
それでは、本日の議案に移ります。

本日の議案は2件で、9月市議会定例会に提出される議案について、府中市長から意見聴取を求められているものが1件、そして、特別支援学級で使用する教科用図書の採択に関わるものが1件でございます。

ここで、会議の公開・非公開についてお諮りしたいと思います。

本日の議案のうち、議案第24号は、令和7年度使用教科用図書のうち特別支援学級において使用する教科用図書の採択についてでございます。

この議案については、児童生徒一人一人について必要な支援の状況に基づき審議するものでございますので、この議案については非公開にしたいと考えますが、いかがでしょうか。

(異議なしの声)

教育長 非公開とすることに賛成の方の挙手をお願いいたします。
(挙手)

教育長 ありがとうございます。出席委員の3分の2以上の同意を得ましたので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項の規定により、議案第24号の議事は非公開といたします。

本日の会議は、議案第23号の審議をした後に、まず協議、報告事項を受けます。その後に議案第24号の審議を非公開で行うことといたします。

それでは、議事に入ります。

議案第23号 令和5年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について(教育委員会に所掌に係るものに限る)を議題とします。

提案説明をお願いいたします。

大森課長。

大森課長　それでは、議案第23号　令和5年度府中市一般会計歳入歳出決算認定について、御説明させていただきます。

お手元に資料がございます。よろしいでしょうか。

それでは、決算資料のほうから説明させていただきます。

3ページです。

これは、歳入歳出決算の構成としまして、府中市全体の歳入歳出の決算部分でございます。

上の円グラフは歳入です。これは歳入全体で236億9,287万9,000円。令和4年度と比較しまして4.6%増、10億円増となっております。

下の円グラフが歳出です。229億5,260万4,200万円。これも令和4年度比5.6%増、約12億円増というふうになっております。

歳出のその円グラフを見ていただきますと、教育費約22億円、全体の9.6%を占めております。前年では約8%を占めておりました。

令和4年度と比較しまして、教育費、約4億7,000万円の増加となっております。これにつきましては、学校の空調整備、社会体育費ですけども、上下運動公園の人工芝の工事費、この増加が主な要因でございます。

続いて、5ページをごらんください。同じく円グラフが書いてあります。歳入性質別構成と義務的経費の推移というものです。

決算の構成ですけども、一番多いのは義務的経費44.3%、その中には扶助費、これは給付金などの扶助が全体の19.6%、それに続いて人件費が14.9%、公債費、起債の借金の返還などを含めまして義務的経費が全体の約44.3%を占めているという状況でございます。

続いて、教育費の内訳について説明させていただきます。

資料の11ページ、12ページをご覧ください。

10款教育費のところを見ていただきますと21億9,394万7,747円、これが教育費の決算額でございます。

この中には、市長部局で管理しております社会体育費の4億1,325万6,588円も含まれておりますので、それを除く額が教育委員会での執行額になると考えていただければと思います。約17億8,000万円が教育委員会関係の決算額でございます。

11ページに戻っていただきまして、教育費は1項の教育総務費、小

学校費、中学校費、社会教育費、学校給食費、こういう構成となっております。

では、個別に説明します。

教育委員会関係だけ載っておりますけど、221ページ、222ページをごらんいただきたいと思います。

この表ですけれども、10款教育費の中には教育総務費とか、先ほどの小学校費、中学校費とありますが、この教育総務費の中にも1目教育委員会費、2目事務局費というのがございます。

この内訳ですけれども、教育委員活動に要する経費として、221万7,130円、これは教育委員活動に係る報酬等でございます。これは昨年とほぼ同額でございます。

続いて、2目の事務局費ですけれども、備考欄を見ていただきますと、この事務局費といいますのは001教育長の人件費から002職員人件費、そして、003の一般事務経費とこうした構成になっております。

続いて、225ページ、3目の教育振興費でございます。決算額が2億4,973万3,611円、この内訳でございます。001外国語指導助手招致事業に要する経費、ALTに要する経費でございます。これは昨年、令和4年度まで3名だったのが昨年12名に増えたということです。ALTの関係で4,336万9,699円。令和4年度比で238%増、約2,500万円の決算増となっております。

続いて、002一般事務経費8,648万2,000円をはじめ、下のほう、修学援助費014の小中一貫経費ですが、017の遠距離通学のバス通学の経費、キャリア教育ですとか、コミュニティスクールの経費という教育振興費の構成になっております。この教育振興費は前年度比7.6%増、約1,760万円の増額となっております。

5目の特別支援教育振興費3,656万5,314円の決算額ですけれども、これは特別支援教育に要する経費として執行しております。

続いて、2項の1目学校管理費、小学校の学校管理費でございます。決算額は231ページの真ん中辺りですけれども、支出総額3億6,189万6,726円、前年度比、令和4年度比に比べますと127%、約2億円増でございます。この2億円増といいますのは、主には小学校の工事費の増額によるものでございます。

支出の小学校費、学校管理費の主な支出額の項目ですけれども、右の備考欄、004の小学校管理に要する経費201億811万5,700円となっておりますが、これは学校医の報酬ですとか、らんさぼの謝礼、

また光熱水費4,458万1,000円と上げておりましたが、昨年電気代の高騰というのが続いていたんですけども、今年は前年に比べて約7%減、300万円ぐらいの減となって、電気代が少し一旦落ち着いているというふうな状況でございます。

続いて、005小学校施設管理経費2億5,378万5,405円、これが先ほど言いました、昨年と比較して2億円ぐらい増えているのは、ここの工事費の関係です。営繕工事費というのが1億2,877万1,300円、改修工事費、これが9,200万円と上げております。

営繕工事については、上下北小学校のトイレの改修に約7,200万円、南小学校の屋上防水工事で約2,400万円。改修工事の9,200万円は特別教室の空調工事9,300万円等、そうした工事費を計上しているものでございます。

続きまして、233ページ、3項の中学校費、1目の学校管理費、中学校の学校管理費を見ていただきます。

先ほどの中学校管理費は1億2,132万6,000円で、昨年度、令和4年度と比較して13%減というふうになっております。

002中学校管理に要する経費6,301万7,633円。これも小学校と同じように主なものとしましては学校医報酬ですとか、部活動の指導員の報酬です。光熱水費2,774万4,834円、これは小学校と同じように約6%減、150万円ぐらい減って落ち着いている状況です。

続きまして、003中学校施設管理経費5,836万,548円、前年度に比べまして約1,700万円の減額です。ここに上げている営繕工事費4,652万8,600円は、特別教室の空調工事を執行しているものでございます。

続きまして、237ページ、4項の1目社会教育総務費、社会教育費全体でいいますと、ちょっと右のほうを見ていただいて238ページの中段辺りの支出済額のところ4億3,110万2,429円です。これは令和4年度と比べまして28%、約9,500万円社会教育費が増えております。これは公民館の営繕工事が4,000万円を超えて増、文化財の土地取得費につきましても同じく4,500万円ですので、この2件で約9,500万円増えているというような状況です。後ほど説明します。

238ページを見ていただきますと、001職員人件費でありますとか、2ページを見ていただいて決算の数字と様々な活動に要する経費であります。生涯学習推進に要する経費ですとか、生涯学習センターの管

理に要する経費など、そうした金額を執行しております。

続いて、241ページをご覧ください。

2目の青少年育成費がございます。また続いて3目の地域集会所費、4目の公民館費、この公民館費の決算額は1億1,311万5,064円、令和4年度比64%増、先ほど言いました公民館の改修工事の関係です。

244ページを見ていただきますと、001公民館運営管理に要する経費6,900万円とあります。下のほうの営繕工事費、先ほど言いました工事費を計上しております。

002の公民館事業に要する経費につきましては、公民館の館長の人件費等を計上しています。

続いて、245ページを見ていただいて、6目の文化財費でございます。文化財費が支出済額が1億3,036万5,120円、令和4年度比75%増の約5,600万円程度を上げております。

246ページ右下辺りから文化財の内訳になります。001文化財業務に要する経費1億3,000万円になっておりますが、用地取得費2,821万7,227円、これは金龍寺東地区の土地の購入でございます。約8割は国から補助が出ております。

続きまして、249ページの社会体育費、これにつきましては市長部局のほうですので割愛させていただきます。

続いて、253ページをご覧ください。

253ページは学校給食費でございます。学校給食費の決算額は3億3,646万9,709円となっております。

256ページ、右上、003学校給食運営に要する経費、これが3億595万9,326円、上から6行目、光熱水費というのがございます。昨年まで高騰が続いておりましたが、令和5年度は2,549万3,000円ですけれども、昨年度と比較しまして約120万円の減ではありまいですが、やはり同じように続いております。

燃料費につきましても、1,339万9,567円かかっています。これも令和4年度に比べて落ち着いてきています。

しかしながら、賄い材料費が1億5,724万999円、これは前年度、令和4年度比としまして6%の増、約8,900万円程度の賄い材料費、これは物価高騰の影響は依然大きくなっているという状況でございます。

その少し下、学校給食調理配送業務委託料9,577万3,760円、これは学校給食に係る業務委託料、年間約1億円程度支出しているとい

うような状況でございます。

また、主要施策の成果の報告に関する説明書等、またこれは御一読いただければと思います。

決算関係の教育委員会の所掌に係るものの説明は以上でございます。

教育長 ただいま事務局から提案説明がございましたけれども、御質疑があればお受けをいたします。いかがでしょうか。

では、私のほうから。最初9.6%、一番冒頭に全体に係る教育費の割合が9.何%ということでしたか。

大森課長 9.6%。

教育長 9.6%となっておりますけど、途中でその教育費の中には社会体育費のようにスポーツに係る予算が含まれているということ、約6億円ですね、それを加味すると17億円という話だと思んですけど、それで何%になるわけですか。

大森課長 7.4%ぐらいです。

教育長 ほかに御質問等はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

(はいの声)

教育長 それでは、採決をいたします。

原案のとおり承認をいたしたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしと認めます。よって、議案第23号を承認といたします。

続いて、協議、報告事項に入ります。

皆さんから、協議事項について何かございませんでしょうか。

(なしの声)

教育長 それでは、報告事項に移りたいと思います。

まず、私のほうから報告をいたします。

本日は1点、報告をさせていただきます。

昨日、府中学園の軟式野球部と吹奏楽部の生徒による教育長訪問がございました。以前は教育委員会会議でも軟式野球部が県大会に準優勝して中国大会に出場するという報告はさせていただいたんですけども、その後、結果も含めて表敬訪問という形で来ていただきました。

まず、軟式野球部ですけれども、中国大会では広島県の代表として出場して、初戦、島根県の代表の大社中学校という、今年高校野球で話題になった大社高校の中学校と対戦をしまして、見事10対5で勝利をしたということでした。その時点でベストエイト8になったということ

す。初戦に勝ったということは、私の聞いている範囲では過去にないというすばらしいことだったんですけど、その次の準々決勝では、山口県で前大会で優勝した末武中学校というところと7対0で敗れたということで、結果としてはベスト8という結果となりました。

表敬訪問では、県大会で自分たちが打撃に課題があるということで、この夏、県大会が終わってからずっと打撃の練習をしていたと。その課題の克服が中国大会では生きたということで、地区大会でも県大会でもあまり点が取れないというのがチームの課題ではあったんですけど、10点が取れたということで一生懸命努力したんだなというふうに感じました。

表敬訪問では、私のほうから「野球の神様がいますか」という質問をしたんですけど、全員が手を挙げていました。日頃から掃除とか、一生懸命プレーするということがそういう^{ホムニダケツク}生きてきたという言葉もありました。

もう一つ、吹奏楽部ですけれども、昨年県大会の出場は果たしたものの、60を超える学校のうち6位という結果で惜しくも中国大会出場はならなかったんですけども、今年度、第65回の広島県吹奏楽コンクール小編成部門では金賞に輝きまして、66校中2位という結果で見事中国大会出場を決めました。中国大会出場は実は第3回大会で出場して以来62年ぶりの快挙であったということです。

なお、65回全日本吹奏楽コンクール中国大会というのは25日、今週ですね、25日に島根県民会館で行われる予定で、中国地区の代表11校で演奏が行われる予定であります。

表敬訪問では、ふだんから先輩、後輩とのコミュニケーションを大切にしているということであったりとか、お互い尊敬し合えていることが一体感につながっているという言葉もありました。

表敬訪問の中、顧問の先生とも少しお話をしながら、以前より楽器がなかなかいいものを購入できないというところで、楽器のよさでそういう演奏のよしあしも決まってくるということで、レベルが高くなればなるほどそういう影響があるという話もあったんですけども、今現在レンタルして、期間限定でレンタルをさせていただいて対応しているということでございました。25日ということで、表敬訪問がちょうど午前の11時からだったんですけども、朝の8時半から3時まで毎日練習しているということで、本当に練習を一生懸命されている生徒さんでした。

改めて子供たちの努力の積み重ねはもちろんですけれども、当日引率で来られていた顧問の先生であったりとか、また保護者の支援があつての結果ではないかなというふうに感じました。

スポーツ、そして、芸術振興に対する支援を何とか充実させていきたいなというふうに考えてございます。

私からの報告は以上でございます。

続いて、事務局から報告をお願いいたします。

教育政策課長。

大森課長 それでは、教育政策課から、文化財関係を3件、資料1、2、3とあります。1点目、賑わいづくり特別委員会の報告でございます。

この賑わいづくり特別委員会といいますのは、府中市議会のほうでまちづくりに関して、賑わいづくりに資するという調査研究を行うために議会で各委員会を横断した特別委員会を設置しております。

この中で歴史文化的記憶のエリア、はじまりの広場から国府跡の周辺地にかかるエリア実現に向けた今後の具体的な計画についての質問を委員会からいただきました。

これにつきましては、歴史文化的記憶のエリア、はじまりの広場、国府跡の周辺地に関するエリアの賑わいの実現に向けては備後国府跡整備基本計画に基づいて事業を継続しているところという回答をしています。

続いて、府中市歴史資料館運営審議会会議についてでございます。

これは8月7日に行われました。

会議内容は、この運営審議会は、上下歴史文化資料館と土生の歴史民俗資料館の運営管理に係りまして審議いただくものでございます。

この中で、委員から、市町の小規模資料館施設においては、来館者数だけでは成果を測れないというところもあり、両館とも企画展など積極的に行っているということに対する評価もいただきまして、そのうえで、各学芸員が楽しく仕事をしてほしい、そのことで来館者の方も楽しくなる、伝わるといった意見をいただいたところでございます。

3点目、府中市備後国府跡調査研究指導委員の2年ごとの委嘱期間終了に基づく9月1日よりの新規委員の選出に係るものでございます。

これは備後国府跡の解明について調査研究の指導をお願いしている委員会ですけれども、委員が6名いらっしゃいまして、そのうちの2人が今期末で退任されることとなり、新たに安間先生、神野先生、このお2人に新任の委員として委嘱させていただくという報告です。以上3点で

す。簡単ですが、説明は以上です。

教育長 続いて、宮田課長。

宮田課長 学校教育課でございます。

まず、資料の4のところに学校の状況等で生徒指導の諸問題について、7月末時点での集計を載せております。

暴力行為、7月末で7件、昨年度が7月末までに14件ということだったので少し落ち着いた状況があると受け止めています。いじめの認知件数が6件、昨年度は10件ですが、いじめの場合は見えていないかもしれないといった視点で繰り返し小さい事案もしっかりと見ていくことで、いじめがあるかもしれないとしっかりと見ていただきたいということを各学校に指導しております。

不登校児童生徒の状況についてですが、7月末時点で40名です。昨年度は同じ時期に37名ということで、ほぼ同様の人数です。昨年度が最終的に3月末までに96名ということになっています。今年度の3月までにどれだけ増えない環境をつくれるかといったところが一つの取組の目安になろうかというふうに思っております。この時期、不登校の数が上がっている報告ではありますが、昨年度よりも今年のほうが欠席日数が減っていると、全体の数も必要なんですが、そこに視点を当てた取組のほうが重要になってまいります。

先日も教頭研修会のほうも開催したんですが、来週、26日から2学期がスタートします。こういった2学期のスタートに向けて、児童生徒に向けての取組をしっかりとしてもらいたいと、例えば、宿題ができていないということが学校へ行きにくいきっかけになることも相当数いる。それが分かっているのであれば、できていなくても、これから学校でしていこうねとかいうふうに、子供たちに、先が見えるような、学校へ行くのがしんどいままでなく、できていなくても行ってやればいいんだといった安心感を持たせて、まずは学校に来安くなるという取組を各学校でしっかりしていくという指導を行っています。

また、子供の自殺者が一番多くなるのがこの9月1日、2学期のスタートと毎年言われています。本当にいつどこで起きてもおかしくないという状況もありますので、子供たちの様子をしっかりと把握していくという、できることをやっておくということが必要な認識というふうに思っております。

2つ目の小中一貫教育全国サミットに向けては、各学校、しっかりと取組を進めているところで、参加の申込みも始まっているところであり

ます。

このサミットを成功するというのが大きな目標ではあるんですが、サミットを通して各学校が学校力をどうアップさせていく、この先生をどう成長させたいかという、先生方一人一人の人材育成というところにつながってもらいたいというふうに考えます。

全国規模の研究大会を自分が教員をしている間に経験できるというのは本当に貴重なことなんです。そういったときにその場に来れたというところは、ぜひそれを通して自分はこうだったなということが将来的に自分のしっかりと指針につながってくれるものと、そういった声かけを会議室のほうから、こういうふうな事業ができるというのは本当にラッキーなことではないのかといったところをしっかりと意識づけの場にしてもらいたいということを話しています。

最後、ALTの報告ですが、1学期を終えて2名のALTが帰国という状況があります。第一中学校のジェイムズ先生が辞められた後に、もう来日をしておられるんですが、カナダからブレイデン先生が来られています。もう1名、府中学園に勤めていただいたジェレミー先生は長年府中市のALTを務めてくださっていましたがオーストラリアに帰られました。その代わりにトリニダード・トバゴからナオミ先生、今月末に配置予定です。全ての学校で、子供たちが自分、今までは巡回のALTだったのが自分の学校の先生だという意識がすごく高くなって、授業ももちろんだけど、休憩時間に遊んだり、ほかの授業にも一緒に出たりというところで、より身近にALTを感じることによって様々なことを英語で話してみたいという意欲がすごく高まっている。中には校内放送を英語の校内放送、給食時間の校内放送が英語の校内放送に挑戦する、その指導をALTがするといったところも出てきています。また、ALT担当の職員の働きかけのもとで、地域に出て行って、姿を見せてくれていることも、地域のほうからも親しみやすいというところで好評をいただいているところです。以上でございます。

教育長

それでは、報告事項等について何か御質問等がございますでしょうか。

私から。報告がありましたけれども、近年といいますか、不登校の要因の一つに宿題というのが結構出てきて、いわゆる宿題の目的というものも徐々に変わりつつあるのかなというふうに思っていて、過去はどちらかと言うと、夏休みはしっかりと拘束をするということで、漢字をひたすら書く宿題であるとか、そういうことも場面、場面においては大事なのかもしれないですけれども、夏季休業で何に時間を費やすのかと

いうものも徐々に見直していく時期に入っていくのかなというふうに思います。全国的には宿題を大幅に減らして自由研究、探究的に自分で探していくような宿題を増やしていくというふうな流れもありますし、一方で、毎日学習習慣をしっかりとつけられるような、なおかつ子供たちの力になる、子供たちが学ぼうとするような、目的にそって学べるような宿題というものを徐々に考えていかなければならないかなというふうに思っています。

どうも最近では、子供たちは使えないですけど、生成AIとかで読書感想文とか、瞬間的にできるようなものがあるということで、読書感想文の宿題というのも考えていかないと、本当に読んだのだろうかというのはもう、それが合っているかどうか分からないですけど、例えば走れメロスの読書感想文というので勝手に何文字以内でつくってくれるので、大抵合っている内容になっているということで、そうすると本来の宿題の意味から少し外れてきたりするのかなということをおもいます。

森山委員のお子さんもう宿題は終わられたんですか。

森山委員 あと何でしたっけ、自由研究、科学研究、あれに頭を悩ましています。もう木曜日だって、今日の朝、頭を抱えていました。

教育長 ありがとうございます。

それでは、連絡事項に移りたいと思います。

和田係長、お願いします。

和田係長 今回の会議は、9月24日火曜日13時半から教育センターで開催させていただきたいと思います。9月末に小中一貫教育全国サミットを控えておりますので、議事等の有無によっては、日程のほうの調整、もしくは調整会議にさせていただく場合があるかもしれません。ご承知ください。次々回につきましては、10月24日の木曜日を予定として調整等させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

教育長 それでは、議案第24号に入る前に、少しだけちょっと準備等も含めまして休憩とさせていただきたいと思います。5分ぐらいでよろしいでしょうか。では25分再開でよろしく願いいたします。

議案第24号 非公開

教育長 そのほか何かありましたら御発言をお願いいたします。よろしいでし

ようか。

(なしの声)

教育長

最後に、私のほうから、8月29日木曜日に府中市に参議院議員の今井絵理子議員が来られます。元SPEEDのメンバーです。府中学園に今設置しているマザーズルームであるとか、府中明郷学園の教育も視察に来られるということで、もともとマザーズルームを設置するきっかけになった議員さんでもありますし、そして、お子様が特別支援学級、障害をお持ちのお子さんで今、プロレスラーらしいんですけど、今特に特別支援教育について力を入れられているということで、縁あって先月ですか、市長が上京したときにお会いして、ぜひ府中市に来てくださいということでお願いをしたら、分かりましたと29日に来られるということです。発信力がある方なので、来ていただくということが目的ではなくて、府中市でこういう取組に力を入れてやっているということをしっかり知ってもらって、発信してもらおうということも共有させていただきます。

森山委員

せっかくならコメントが欲しいですね、府中市教育に対するコメント。

教育長

終日、宮田課長と一緒に入ってもらうので、しっかりとアピールも、私も途中で同席しますので、いいポイントを出してもらえるようにしたいと思います。

それでは、事務局からよろしいでしょうか。

(なしの声)

教育長

それでは、以上をもちまして、令和6年第9回の教育委員会会議を終了いたします。大変お疲れさまでした。